

## 【支部総会報告】

## 2021年度 兵庫支部 総会報告

通信員 吉田隆人(大学6回生)

2022年2月12日に2021年度京都医療科学大学学友会 兵庫支部総会が開催されました。

昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮してZoomを用いたWeb開催となりましたが、学術講演としてメーカー講演2社・基礎講演2演題・特別講演1演題、その後支部総会も行われ、例年通りの充実した内容となりました。全国各支部および学生など合わせて106名のご参加をいただきました。

学術講演は、司会の辻居賢一氏(短15回生)、座長の榎本亮介氏(短18回生)と村上智裕氏(大6回生)の進行にて行われました。まず、メーカー情報提供として2社の方々に講演していただきました。日本メジフィジクス株式会社の兼松昂氏からは「骨シンチグラフィ解析ソフト VSBONEBSI のご紹介」と題して、バージョンアップされたことで精度が向上したVSBONEBSIについて分かりやすくご紹介いただきました。島津製作所の金谷章秀氏からは「島津X線TV装置 FLEXAVISION シリーズ新型機のご紹介」と題して、新型透視装置についてご紹介いただきました。透視検査に加えて一般撮影検査にも対応できるなど、施設ごとの様々な要望に応えられる装置とのことで興味深い内容でした。

次に基礎講演では、杉本寛季氏(大6回生)から「漏洩線量測定、X線遮蔽計算について～測定業務を通して感じたこと～」と題して、漏洩線量測定の基礎から分かりやすく解説いただきました。また、測定業務に従事する杉本氏からの貴重な経験談も聞くことができ、非常に興味深い内容でした。村主瀬成氏(大9回生)からは「明日から使える膝側面～ポイントを見て再撮影をなくす～」と題して、再撮影の判断に迷う膝関節側面撮影についてTKAやUKA術後患者なども含めて様々な臨床画像を用いて解説いただきました。

次に特別講演として吉田隆人(大6回生)から「肩関節撮影を極める」と題して、基礎的な内容から症例検討まで広い内容で講演いたしました。

学術講演の後には支部総会が行われ、兵庫支部会員のみならず他支部の支部長や大学関係者にもご参加いただきました。神澤匡数兵庫支部長(短7回生)の挨拶から始まり、西谷源展学友会副会長(44回生)や錦成郎学友会副会長(54回生)にもご挨拶いただきました。遠藤啓吾学長からビデオメッセージをいただき、鈴木英文事務局長からは大学の近況報告をしていただきました。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今回も全国から幅広い年齢層の卒業生にご参加いただき、非常に嬉しく思っております。

来年以降の開催方式は未定ですが、現地開催とWeb開催のそれぞれのメリットを踏まえて今後兵庫支部役員にて協議を重ねていきます。

来年以降も皆様のご参加楽しみにお待ちしております。



以上

\* 通巻 243 号 2022 年 4 月 10 日発行(2021  
—No.1より)